

のぞみ

No. 430

2022. March

Public Relations Magazine NOZOMI

<https://www.sendai-jc.or.jp>

Carry Out...

～志高く^{まち}仙台の未来を切り拓こう～

2022年度スローガン

理事長対談
2022年度

第1弾! 松下幸之助

成功の秘訣

PHP総合研究所元社長
経済学博士・元参議院議員

公益社団法人仙台青年会議所
第71代理事長

江口 克彦 × 八重樫 司

Contents

- 2022組織体紹介
- SDGsとこれからのビジネス
- JC流マネジメント論
- 事業報告

平素は仙台青年会議所（以下、JCI 仙台）に対しまして、格別のご高配を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指し、まちづくりやひとづくりを行っている団体です。

JCI 仙台は1951年に全国で11番目の青年会議所として誕生し、以来71年間にわたり市民の皆様とともに、地域に根差した事業の実施や政策提言を行い、地域発展に取り組んで参りました。ここまで活動を続けることができましたのも、日頃からお支えをいただいている市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様のお陰様でございます。改めて感謝申し上げます。

急激な社会の変化は人々の価値観を変え、私たちが住み暮らす仙台においても、ニューノーマルな時代への対応が求められています。そのような中で、本年度は「志」と「人」に焦点を当てております。生活様式が変わり、人と人の交流の機会が限定的になる中、本年度は様々な世代、業種、団体の垣根を越えたまちを愛する市民の皆様と連携し、多方面において山積する地域課題と真剣に向き合い、仙台の未来を見据え、地域の持続的発展に導く責任世代として「志」高く行動していくことで、誰もがしがあわせを共感できる仙台の実現に向けて、仙台の未来を切り拓いて参ります。

そして私たちは、時代の変化に柔軟に対応するしなやかな組織へ進化するために、会員一人ひとりの衆知を集め、JCI 仙台に対する共感の輪を広げるとともに、高い志を持った「個」が集う魅力溢れる組織としてのブランディングを確立いたします。

2022年度のJCI 仙台は、「Carry Out!～志高く仙台の未来を切り拓こう～」をスローガンに掲げております。「Carry Out!」には「実行する・成し遂げる」という意味があり、様々な制限がある中でも、私たちは行動し実行しよう！成し遂げよう！との想いを込め、昨年迎えた70周年から新たな一步を踏み出す一年として、地域に根差した運動を志高く展開して参ります。

私たちの理想とする仙台は、一人ひとりが仙台を愛する想いを行動に移すことによって創出されます。これは、JCI 仙台だけでは実現できるものではなく、日頃お支えいただいている皆様からのご理解とご協力があってこそ成り立つものと考えております。今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様からの変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



第71代理事長 八重樫 司

私たちの理想とする仙台は、一人ひとりが仙台を愛する想いを行動に移すことによって創出されます。これは、JCI 仙台だけでは実現できるものではなく、日頃お支えいただいている皆様からのご理解とご協力があってこそ成り立つものと考えております。今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様からの変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



読者アンケート / 読者プレゼント企画!

のぞみNo.430のご感想をお聞かせください。抽選で江口克彦先生のサイン入り著書は10名の方に、山脇山月堂のきびだんご手作りセットは5名の方にプレゼントいたします。

ぜひ、お気軽にご応募ください。

*スマホで右のQRコードを読み取り、ご記入の上送信ください。
*当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【申込締め切り】2022年4月30日(土)まで

まち この仙台に新たな歴史を刻む 未来を切り拓く青年求む!!

| 仙 | 台 | 青 | 年 | 会 | 議 | 所 | へ | 入 | 会 | す | る | 魅 | 力 |

日常生活で体験できない多くのチャンスが、「あなた」をこれまで以上に魅力的な人間に成長させます。

多種多様なひととの繋がりが、「あなた」のビジネスを大きく発展させます。

国や地域を越えた出会いが、「あなた」の世界と価値観を広げます。



仙台青年会議所 HP [<https://sendai-jc.or.jp/2022/>] * スマホの方は右のQRコードからもアクセスが可能です。



PHP 総合研究所元社長
経済学博士、元参議院議員

江口 克彦



公益社団法人 仙台青年会議所
第71代理事長

八重櫻 司



理事長対談

— 八重櫻 理事長 (以下、八重櫻)

松下幸之助さんの最後の弟子と呼ばれている江口克彦先生に是非、松下幸之助さんの様々なお話をお聞きしたいと思い、対談をお願いさせていただきました。「企業経営」「経営者が心得るべきこと」「人として、企業として、地域に貢献するには」の3つのテーマで、幸之助さんの話、また幸之助さんを近くで見てきた江口先生のお話をお伺いさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

— 江口 克彦氏 (以下、江口)

はい。どうぞ宜しくお願いします。

企業経営

— 八重櫻

早速ですが、テーマの1つ目「企業経営」についてですが、まず「松下幸之助さんがなぜ成功したのか」というところを江口先生から教えていただきたいです。

— 江口

実は幸之助さん自身が成功した理由を講演で9つを挙げて話したことがあるんです。

9つすべてご紹介すると、このテーマだ

けの掲載で終わってしまうので、3つに絞ってお話しますね。

一つ目は、①自分が凡人であったこと。幸之助さんは4歳の時に父親が米相場で失敗して、一家10人は離散。そして、小学校4年で中退しています。自分は学校を出ていないから、自分が凡人だと思って周囲の人たちから色々聞くことで学ぼうとしたわけですね。それが自然と「衆知を集める」に繋がっていったのだと思います。自分が凡人だと思っていなければ、無知であることが恥ずかしいと思い、他人に聞けないですよ。人に尋ねて、色々な知恵や知識、情報をもって、その中で自分で考えて一番ベストなものを選択する、あるいは止揚することが成功に繋がっているんだと思います。

二つ目は、②人材に恵まれたこと。と、松下さんは言っていますが、これは私から言わせてもらうと、幸之助さんが人材を育てたのだと思います。当時の松下にそんな

に優秀な人なんて来ないですよ。それを幸之助さんが四流の人を三流に、三流の人を二流に、二流の人を一流にと、ご自身が育てたと私は思うのです。ただ、やはり高橋荒太郎さんや丹羽正治さんこの二人には幸之助さんは恵まれたと思いますね。

三つ目は③方針を明確に出したこと。全社一丸となってその力を合わせられるような方針を示して、言ってみれば「経営の見える化」をしたということです。意外と方針をしっかりと示している経営者は少ない。

「俺についてこい」というのは全く逆ですよ。方針がないと、社員の人たちは一生懸命走っているのに、たとえば北じゃなくて東に走ってしまう可能性があるんです。これが社員のやる気を削ぐ原因となります。社員が仕事をしなくなるというのは基本的に経営者の責任です。④理想を掲げたこと⑤時代に合った事業をしたこと⑥派閥をつくらなかったこと⑦ガラス張りの経営をしたこと⑧全員経営をしたこと⑨公の仕

(次ページへ)

Profile

江口 克彦 (えぐちかつひこ)

1940(昭和15)年2月1日生まれ。株式会社江口オフィス代表取締役、経済学博士、元参議院議員、PHP総合研究所元社長。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。松下電器産業株式会社入社後、1967年にPHP総合研究所に異動、松下幸之助の秘書となる。昭和51年に経営を任せられ、2004年に同社社長に就任、2009年に退任。道州制ビジョン懇談会座長(内閣官房)、沖縄新世代経営者塾塾長(内閣府)などを務めた。



「松下幸之助さんならおそらく、日本の伝統精神に立ち返れ」ということを言っているのではないかなと思います。

事であることを認識したこと。いつもこのテーマで1時間半から2時間の講演をしているので、うまく書いてもらえると良いですね(笑)。

一 八重樫

ありがとうございます。幸之助さん自身が自分で話しているという点、そしてそれに対して近くで見えてきた江口先生の視点、大変勉強になりました。会社経営だけではなく、働くうえで成功するためのヒントがたくさんあると感じました。実践できることからやっていきたいと思います。次に進みますが、「今も生き続けていると思う松下幸之助さんの経営観」であるとか、例えば、「松下幸之助さんが今この時代に対して、どんなことを言うだろう」ということについて、教えていただけますでしょうか。

一 江口

松下幸之助さんならおそらく、「日本の伝統精神に立ち返れ」ということを言っているのではないかなと思います。1990年くらいから新自由主義という、働くことがお金中心の考え方、思考が欧米から入ってきたんですね。そして、この考え方を日本化せずにそのまま取り込んでしまった。これが日本をダメにしてしまったのではないかと私は思います。日本の伝統精神というのは、縄文時代から流れている「人」中心の考え方です。渋沢栄一

さんもそうですが、松下幸之助さんは、これはもう一貫して「人」なんですね。労働即お金儲けじゃない。人を中心に考え、人を大事にする。お金よりも、一人ひとりが仕事を通して自己向上していくということが大事であるという考え方です。それが、日本の伝統精神であり、経営を「人」中心に考えるということです。お金を追いかけるのではなくて人を追いかける。だから、今、松下幸之助さんが元気ならば、「人」を大事にする、人間を大事にする、そのような日本の伝統精神、それは松下幸之助さんの言葉で言えば「和」、あるいは「衆知を集める」という言葉になると思います。

一 八重樫

会社経営においても日本の伝統精神に立ち返り、改めて「人」を大事にするというのは、これからの時代において本当に大切になってくると思います。実は本年度の仙台青年会議所では「人」に焦点を当てて運動を展開していく計画です。改めて先生からのお話を伺うことで重みを感じました。ありがとうございます。

経営者が心得るべきこと

一 八重樫

続けてテーマ2に入らせていただきます。今お話しいただいた内容も経営者が心

得るべきことだと思いますが、まず、「会社を元気にする方法」として大事にするべきことを教えていただきたいと思います。

一 江口

会社を元気にする方法はいくつもあると思いますけどね。一つ挙げるとすれば、社長が威張らないことです。要するに、冒頭に申し上げた松下さんの「自分が凡人である」という思いを持たないといけない。会社の雰囲気は全然違ってくるんですよ。肩書の問題ではなくて、社長自身の姿勢、心構え、心掛けの問題です。肩書は社長だけでも、社員の目線で、モノを言って、それを承知しておく必要があるのではないかと思います。それが会社の元気に繋がってくると思います。

一 八重樫

ありがとうございます。社長の姿勢がそのまま企業の体質に繋がると感じました。本年度、私も理事長の職をお預かりしておりますが、理事長であっても年会費は一緒であり、肩書によって機会と責任は変わると思います。メンバー一人ひとりが同じ目線で仙台的のことを考えていければとメンバーに話していました。肩書によって威張るのではなく、姿勢・心構えを磨いていきたいと思いました。ありがとうございます。続いて人材の育て方について伺いできればと思います。

人材育成4つの原則

一 江口

人材の育て方は、4つの原則があります。1つは「方針を明確にする」ことです。方針というのは、経営理念+具体的目標+最終目標です。最終目標を明示して、小走りで行くのか、ゆっくり行くのか、全速力で行くのかってようなことも明示する。それと同時に、なぜそこに向かっていくのかという経営理念を明確にする。そういうことが、社員の人たちにや



BLOOM 株式会社

自分に対して本気になって話してくれているか、 あるいは他のことを考えながら相手をしているのか、 社員は良く分かるものです。

る気を出させるという
ことになり、人材の育
成に繋がります。

2つ目は、社長なり、上の方が「社員に尋ねる」ことです。実際のところ私も幸之助さんとほとんど四六時中そばで過ごしていましたが、よく話かけられました。社員に尋ねることによって社員も勉強する。自己啓発になるんです。社長は情報が集められるし、それで尊敬されて慕われるというようなメリットがあるんですね。それによって人材も育ち、会社全体のやる気に繋がります。

3つ目は「権限を与える」ことです。権限を与えたくて仕事に取り組むことによって、社員なり、あるいは部下は育っていくわけです。ポストが人を作るって言いますよね。ただし、権限を部下に渡しても「権威」までは渡してはいけません。人としてやるべきことはやる、やるべきでないことはやらないということを徹底することで権威はつくられます。権威を失ったら部下からの信頼は得られません。「権限を委譲すること」と「権威を保つこと」は重要です。

最後に4つ目は、「感動を与える」ことです。感動というのはやっぱり「人間観」によります。幸之助さんの言うならば、人間は偉大な存在である。だから人間を大事にしなきゃいけないという人間大事の哲学を持って、部下に接していく、社員に接していくということです。社員に対して感動を与えられれば、社員もやる気が出るでしょう。感動すれば、この社長のために一生懸命仕事をしようということになるわけです。

幸之助さんからは社員を叱るときでも心の中で手を合わせて、いつもよくやってくれている、素晴らしいものを持っているという感謝の思いを持って接するというのが大事と言われました。自分に対して本気になって話してくれているか、あるいは他のことを考えながら相手をしているのか、社員は良く分かるものです。

叱ること一つとっても幸之助さんからは感動を与えられていたと思います。

— 八重樫

ありがとうございます。非常に勉強になります。本当に人を育てるのは難しいなと思っています。価値観が変わっていく中でも、4つの原則は行えますし、特に最後の感動を与えるっていうのはなかなか難しいとは思いますが考えて実行したいですね。そして、青年会議所という組織は感動を与えられる組織だと思っています。本年度は感動を与えられる運動を起こして、組織のブランディングを行っていきたいと思います。

人として、企業として、 地域に貢献するには

最後にテーマの3つ目です。私たち青年会議所は、地域に根差した運動を行う組織であり、地域課題の解決や明るい豊かな社会の実現を目標にしています。人として、また企業として、地域に貢献していくにはどうすればよいか、松下幸之助さんであればどういふ話をするかをお伺いできればと思います。

— 江口

青年会議所というのはものすごく大きな役割を持っていると思いますよ。地域の未来を考えてまちを作っていくのは若い人たちであるべきなんです。そのためにはまずは若者を集めること。若い人たちが自分たちの住むまちの将来をどうすれば良いかを考えることが重要です。

それからもう1つは、徹底的にまちの特色というのを分析することです。そして、何

が魅力になるかということ議論してそして1つに絞るか、3つなのかそれを判断して、決断して、実行することが大事なんですね。そして、それを進める中で専門家を呼んで話を聞くということは大切ですが、あくまで若い人たちを中心に明日のまちを作っていくというのが大事だと思います。

— 八重樫

まさに青年会議所のことだと思いますし、本年度のまちづくりを担当する委員会は若い人を集めてそのような運動を展開する計画を進めています。目指すべき方向が間違っていないと思わせていただきました。また、今後地域をより活性化させていくためには、どのような点を考えていくのが良いと思いますか。

— 江口

人口減少とは言われていますが、実は数十年前ぐらいの人口に戻るだけなんです。ヨーロッパの先進国の人口は7~8,000万人位ですので、人口減少を深刻に考えることはないかと思っています。大事なのはその地域の人を集めるだけでは、地域の中でお金を回すと

(次ページへ)



i-Plain

株式会社 アイブレイン



いうことにしかならないということ。要するに、地域以外の人たちを集めるというのが重要な視点になってくると思います。例えば七夕まつりだけではなくて12ヶ月連続で祭をするまちという演出を行うと仮定すると、地域外から人が集まってきて、様々な波及効果が生まれると思います。地域以外の人を呼ぶには、仙台でPRをするだけではダメで、東京や大阪など地域外で広報をもっと行うのが非常に重要です。

一 八重樫

ありがとうございます。今年は組織ブランディング戦略会議を筆頭会議体として活動しております。仙台青年会議所をブランディングし、魅力を発信していこうと思っておりますが、地域外でも広報できる仕組みづくりも考えていきたいと思っております。

テーマ以外とはなりますが、質問させていただきます。本年度の仙台青年会議所は、「Carry Out! ~志高く仙台の未来を切り拓こう~」というスローガンを立てています。「志」について一言いただけますか。

一 江口

幸之助さんは「志」という言葉を好んで使っていましたが、今の若い人には「志」という言葉は伝わりにくいところがあるかもしれないですね。ですので、「志」という言葉を分かりやすい言葉に置き換えて、例えば「目標」「目指すべきもの」と翻訳して若い人たちに伝えていくのも良いかと

思います。そういう「目標」があれば、そこに向かって努力していく人も出てくると思います。例えば、イチロー選手や大谷翔平選手は「目標」を持って努力を重ねた人として有名ですよね。また、昔は「末は博士か大臣か」なんて言葉がありました。今は夢が多様化していますので、それぞれ、自分が目指したいことを一人ひとりが「持つ」ということが大事だと思います。

一 八重樫

ありがとうございます。少しお聞きしたいのですが、江口先生から見て、普段の松下幸之助さんってどういう方だったんですか。

一 江口

あたたかくて、慎重で、思いやりがある人でしたね。論語の言葉だと「温良恭儉讓」というのがとても当てはまる人でした。それと、動きが速い人でしたね。「経験」を真剣に積み重ねていましたので、そこから得られた知恵というのは、瞬間的に判断することができたのでしょう。

一 八重樫

そうなんですね。ありがとうございます。最後になりますが、先生の本の中でも30代が大事、30代が頑張るところということが書いてあったんですけど、仙台青年会議所は25歳から40歳までの青年が所属しています。ぜひ、仙台青年会議所のメンバーに向かって、30代、そしてその後をどのように頑張っていけば良いかアドバイス

をいただけますか。

一 江口

松下幸之助さんもそうだし私の経験からも、30代は人生において勢いに乗っているピークだと考えます。幸之助さんが経営理念を考えたのは35歳くらいのときです。30代は全力を挙げて自分の目の前の仕事に取り組んでいくことができる。それが40歳になり50歳になって発展していくということになる。30代が出発点であると言えるわけですね。じゃあ20代は意味がないのかというと、そうではなく、30代が出発点である。そのために20代は、どれだけ自分を膨らましておくか、自己向上というか自分の心の中を太らせておく、頭の中を太らせておくという準備ですね。それをもとにして爆発するのが30代ということになってくるわけです。だから、30代で爆発し、それが40代、50代、60代というように続いていくんですね。また、30代まではインプットの時代、40代になってインプットとアウトプットがイコールになって、50代、60代はアウトプットの時代になります。なので、30代までにいかに頑張るかというのが非常に大事なんですね。

一 八重樫

30代、これから爆発しないといけないですね。江口先生、本日は大変お忙しい中、大変貴重な話を誠にありがとうございました。【対談日：2022年2月12日】



創業 明治十四年

山脇山月堂
 YAMAWAKI SANGETSUDO

きびだんご(明治天皇陛下・昭和天皇陛下献上)
 桃太郎伝説 生きびだんご

オンラインショップでも、山脇山月堂の製品をお買い求めいただけます。
<http://www.dango.co.jp/>

山脇山月堂



2022

組織体紹介

組織ブランディング戦略会議

広報関係全般、時代に即した組織を目指して行う組織改革に加え、2月と10月の2回の公開例会や事業を通じ、仙台青年会議所のブランディングを行います。誰もが活躍でき、市民の皆様に共感いただける組織となれるよう精一杯取り組んで参ります。

議長
後藤 泰己 (エール法律事務所)



七夕花火祭特別委員会

「ハピネス！」をテーマに掲げ、歴史の継承と関係各所との連携を強化し、笑顔と共感の輪が生み出す地域愛の醸成から、新たな価値を持った、第53回仙台七夕花火祭を開催します。仙台に笑顔が溢れるよう特別委員会メンバー一同邁進して参ります。

特別委員長
大高 成美 (株式会社あおぞら)



持続可能な^{まち}仙台創造委員会

持続可能な^{まち}仙台創造委員会では、6月公開例会と持続可能な地域へ繋げる事業を実施します。次代を担う20代の若者とともに、地域の産官学民が一体となって、地域を活性化する運動を展開していきます。仙台にインパクトを与える運動をやり遂げます！

委員長
佐藤 圭輔 (株式会社つばさパートナーズ)



例会委員会

例会委員会は年に4回、メンバーの皆様のために、「為になる」例会を計画し実行いたします。まずはOBとの交流を中心とした創立例会をスタートとし、7月からは皆様には幅広い視点を持ったリーダーとなり、次代を牽引する組織の一員となっていただきます。1年間よろしく願いいたします。

委員長
上野 俊幸 (ウエノ設備株式会社)



総務委員会

仙台青年会議所の諸会議の設営、運営と議事の記録を行うとともに、会員名簿や年次報告書の作成など内部資料の発行を行います。また、12月には卒業式や理事長交代式の例会を実施します。委員会メンバーと共に各組織体のサポートを行えるよう頑張ります。

委員長
大岡 夏子 (有限会社FPコールセンター)



法令会計審査会議

法令会計審査会議は主に組織財務関係の管理と運営や、各事業の内容と予算の適正化、またコンプライアンスチェックを行っております。変化する社会情勢に合わせて活動するJCI仙台が、事業を展開し続けられるように法令会計審査会議メンバーでしっかりとサポートしていきます。

議長
寺崎 修平 (株式会社興設)



会員開発特別委員会

新入会員候補者の入会時期を2月、4月、7月の3期に分けて募集。仮会員セミナーや組織の理念共感からリクルート意識を向上させるべく毎月の組織拡大会議の実施、外部と連携した会員拡大フォーラムの実施、事業報告会の実施をいたします。2022年度は組織一丸となって100名のリクルートを達成します。

特別委員長
高橋 克也 (中野正志事務所)



未来を切り拓く子ども育成委員会

未来を切り拓く子ども育成委員会では、学びや実体験の機会が減少した子どもたちをメインとして、公開例会と事業を通して、志を立てていただきます。本年は何事にも挑戦し、学びの輪を広げていく委員会としたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長
鎌田 隼 (住環境工房 想創)



会員連携委員会

会員連携委員会では、各種大会への参加促進、組織間の連携の強化、さらなる^{まち}仙台の活性化に向けて地域に根差した他団体との交流を図り連携の構築を進めて参ります。メンバーと連携して活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長
大道寺 崇宏 (有限会社泉自動車解体)



2022年度「のぞみ」編集メンバー(組織ブランディング戦略会議)

議長 後藤 泰己	幹事 岸谷友紀江	委員 菅原 崇博
副議長 伊藤 啓	幹事 佐々木直貴	委員 高橋 勇太
副議長 齋 崇	幹事 宮内 祐弥	委員 西尾 将
副議長 佐藤 幸大	委員 伊藤 俊吾	委員 水野 翔平
副議長 高橋 裕介	委員 黒島 悠基	

ICHISE

森と空気と水を大切にする会社



株式会社 市瀬

<http://www.ichise.co.jp/>

東京本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-7 源興ビル 6F
 TEL:03-3291-7561(代) FAX:03-3291-7567
 仙台支店 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代 3-6-2 TEL:022-232-3520(代) FAX:022-283-1631
 郡山支店 〒963-0551 郡山市喜久田町字菖蒲池 1-8 TEL:024-959-1177(代) FAX:024-959-1178
 福島支店 〒960-0102 福島市鎌田字卸町 17-2 TEL:024-553-7131(代) FAX:024-553-0275

当社は明治42年に創業し今年で113年になり、紙の卸売、加工販売会社として長くお客様に支えていただいております。

当社の特徴の一つに、平成15年3月に紙の国内流通業界においてFSCのCoC認証を取得したことが挙げられます。

FSC認証制度とは、毎年広大な面積が失われる森林資源の保護と、私たちの経済活動との両立を目指すために始まった、持続可能な森林経営と森林素材の流通を認証する環境保護の世界的な制度です。

当社はその制度の下で製造されたFSC認証紙を積極的に取り扱い、「消費が森を守り育てる」というメッセージをお客様はじめ社会に提供し続けてまいりました。

また、10年前からペット事業をスタートさせ、主にペットサロンで使用するトリミング器具などを販売しています。数多くの代理店様のおかげで販売実績は堅実に推移し、今では主力事業のひとつに成長しました。

これからもお客様と共に歩み、事業の継続と発展を目指して、会社の歴史を刻み続けていく思いです。

お困りのことはありませんか？

初回相談無料



不動産登記



成年後見



会社・法人登記



相続



空き家



- 家を購入したけど、登記手続きはどうするの？
- 相続手続きって何をすればいいの？
- 会社を作りたいけどどうすればいいのかな？
- 成年後見制度ってよくわからないの？
- 空き家があるけどどうしたらいいの？



司法書士法人 暁



悩んだときは、ご相談ください。
 司法書士は、市民のみなさまに
 身近な法律家です。

代表 司法書士 田中信彦

TEL 022-302-7246 FAX 022-302-7247
 E-mail n-tanaka@akatsuki-shoshi.jp

料金に関しましては、依頼案件の内容により個別にご提示させていただきます。お気軽にお問合せください。



宮城県知事 (4) 第 5026 号

太陽地所株式会社

住所：仙台市若林区卸町 2 丁目 6 - 11
 TEL:022-355-8343 FAX:022-782-7133



当社は、1994年4月に宮城野区小田原金剛院丁（現在の小田原山本丁）に創業して以来、宅地の分譲販売、賃貸物件のオーナー業を主軸として、地域の皆様のご協力をいただきながら事業を展開して参りました。現在は仙台市内及び近郊に賃貸集合住宅が18棟、商業ビルや老健施設を2棟所有しております。最近では新築の木造3階建て賃貸住宅の運用を事業として行い、既存で1棟、2棟建築中となっております。入居者の方のニーズに応えるべく、設計段階から間取りや設備を考えた事業を展開しており、お蔭さまでご好評をいただいております。今後も、誠実な取引を全うして、不動産業を通じて地域の発展に貢献して参ります。

SDGsとこれからのビジネス

SDGsとは

近年では、メディアを通して多くの人がSDGsを意識するようになってきました。例えば、ジェンダー不平等は、男女の関係性だけでなく、広く教育や雇用、働き方、政治など様々なことに影響を与え、社会問題を引き起こしています。また、目の前の社会課題が実は地球規模で関連し合っており、急速に増幅していることを、私たちは目の当たりにしています。

SDGsの概念を表す構造モデルとして「ウェディングケーキモデル」があります。これは、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」をケーキの頂点として、下から「生物圏（環境圏）」「社会圏」「経済圏」によって構成されています。現在の状況は、いつの間にか「経済」が非常に大きくなり、経済活動が優先され、それが地球環境に大きな影響を与えています。また、同じ人間でありながら、どんな仕事をしているか、どこに生まれたかで、大きな格差が生まれている、そういうことが当たり前になっていることが大きな問題です。この状況を「持続可能な状況ではない」と警鐘を鳴らしているのがSDGsと言えます。こうした課題を個々の問題として解決していこうというのではなく、全体のシステムとして捉えて、その解決を図るために「今の世界の在り方を大きく変革する」という理念のもと掲げられたのがSDGs(持続可能な開発目標)です。



SDGsとビジネスの関係性

今、消費者の持続可能性に関するマインドが、教育やメディアによって少しずつ変わってきているのを感じます。これまでのマインドというのは「今だけ、こだけ、自分だけ」という意識の中で、快適性や安さ、自己表現や承認欲求を重視した消費をしてきましたが、近年では、「他の人のため、あるいは将来の自分のため、将来の社会のため」というような視点が出てきました。コロナウイルスの影響も少なからずあるかと思えます。自分だけがよければいいではなく、他者や未来のための行動が、持続可能な未来を創り出すという考え方です。消費者がそのようなマインド、特に若い人たちが持つようになったとき、企業は大企業であれ、中小企業であれ、こうした消費者のマインドに寄り添いながら、それを経営に活かしたり、新しい価値を創造することが求められます。大学生のSDGsの認知度はほぼ100%、高校では「総合的な探求の時間」が始まり、その中で県内の多くの学校がSDGsを学んでいます。若者たちは、今、社会課題を自分事としてとらえ、何ができるかを考えています。ビジネスの担い手が、そのビジネスモデルを大きく変えることができるか、できないか、今、それが試されている時ではないでしょうか。

学生はSDGs取り組み企業かをメルクマールとして就職する企業を選択しているか

学生が非常に関心を持っているのは「ワークライフバランス」です。ここには、ジェンダー平等やディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の要素が入っています。個々が能力を発揮し、仕事も生活も充実させたいと考えており、育休取得や子育て支援への関心が男女ともに高くなっています。



尚絅学院大学
人文社会学群 人文社会学類
渡邊 千恵子 教授

仙台青年会議所とどのように連携してSDGsを普及・推進していきたいか

学生との対話の機会を設けていただければと思っています。学生は社会課題を解決したいという気持ちがありますが、それをアクションへつなげるためのインプットがまだまだ足りません。一方で、皆さんは豊富な経験をお持ちです。また、学生との交流から新しい価値を創造することができるかもしれません。豊かな未来を創っていくためには、問題の一部であり続けるより、解決の一部になっていくという姿勢の共有が必要です。そして、これまで以上に、多様なステークホルダーが交流、そして連携していくことが大事になると思います。連携するためには、まずは交流。継続的な交流こそが、次のステップを生み出していきます。そして、それが、SDGsの推進につながっていくと信じています。さっそく、皆さんと大学生との交流の仕組みを考えていきたいです。



株式会社 **ベストプランナー**

企業活動とJCの共通性と違い

企業活動とJCの共通性は「ひと」を動かすことだと思います。違いとして企業は給与を支払って動いてもらう。JCはその真逆でメンバーが会費を払っているのに動いてもらう。ここが最も違う部分であり、それゆえに、JCでメンバーに動いてもらうのは簡単なことではありません。そして、JCでの「ひと」にこだわる経験が、企業に戻って社員が積極的に動いてもらうことに必ず活かされます。

私は2015年にJCI岡山に入会し、2019年に会員開発委員会理事委員長として会員の拡大を担当しました。JCI岡山では2018年までは全体LINEの使用をしておりませんでした。担当委員会だけでなく、JCI岡山メンバー全体LINEを作成し、拡大成功情報を共有することで、メンバーのモチベーションを上げることに成功しました。成功体験を更新することでメンバーが主体的に動いてくれるようになりました。私は、この経験を活かし、成功体験の多くを共有することで、社員はモチベーションを上げ、主体的に動いてもらえるようになりました。

また、JCでは、気配りの大切さを学びました。メンバーそれぞれ仕事があり忙しい中でも前向きに活動してもらうには、いかにメンバーに楽しんでもらい、達成感を感じてもらえるかが大切です。少しのことですけど、お菓子を渡す、または季節ごとにお弁当を出す等のちょっとした気配り一つが大切だと思います。

違う側面ですが、JCは1年間で役職が変わります。そのため、毎年毎年異なる立場で物事を考えるトレーニングになるのですが、これも企業経営に活かしていると感じています。

経営するうえで大切にしていること

私の会社は創業明治14年の会社です。JCも歴史があり、「伝統不易流行」という言葉がありますが、大事にする部分と変革の部分がありますよね。会社も伝統を守るだけではなく、いろいろ挑戦をすることが一番大切にしていることです。

2020年からのコロナ禍に入り、観光業が危機的状況になったことで新たな挑戦をさせていただいております。今までの売上の主力だったきびだんごは、お土産菓子であり、他県からお客様にきていただかなければ買ってもらうことはできません。そこで地元で喜んでもらえる商品として大福を作り、大福屋と和カフェもオープンしました。狙いとしては今の主力であるお土産菓子を日常菓子にシフトチェンジすることです。コロナ禍での挑戦ということで多くのメディアにも取り上げられて、大福屋も和カフェもおかげさまで繁盛させていただいております。



山脇山月堂のお店「豆と餅」で提供している定食



昨年12月10日にオープンしたカフェ「豆と餅」(岡山市南区古新田)

JCのネットワークがどのように企業経営に活かされているか

JCの1番良いところはネットワークだと思っています。

私の会社の主力商品はきびだんごであり、観光客やお土産に人気なのですが、コロナ禍の状況では売上が激減してしまいました。そこで事業転換を行う必要に迫られました。先ほど書かせていただいた、大福屋やカフェのオープンはJCで知り合った多くのメンバーに相談し、現在の良い状況に転換することができました。これもJCのネットワークがあるからこそできていると思います。やはりJCで築いた仲間に相談できることが一番助けられている部分です。全力でJCと一緒にやっている信頼できるメンバーには腹を割って全てのことを相談ができます。良いことは良いと言ってくれますし、悪いことは悪いと言ってくれます。私が知らないお土産関係以外のビジネスモデルを周りは丁寧に教えてくれます。JCには、様々な業種のメンバーがいますし、経営者がいます。誰かが困っているときは他の誰かが助けてあげる、アドバイスしてくれる、人を紹介してくれる。普通は教えないですよ。これがJCのネットワークの凄さだと思います。

JCメンバーや若手経営者への激励

JCは今まで経験したことがないようなことができる団体です。一生の仲間が絶対できる団体です。間違いなくご自身の経営や企業価値の向上に繋がりますので、是非勇気を持って一歩を踏み出してほしいと思います。



公益社団法人 岡山青年会議所
副理事長 安部 真良 君

Profile

1983年生まれ。明治14年創業の老舗きびだんごメーカー山脇山月堂 専務取締役。
公益社団法人岡山青年会議所所属。
趣味: ゴルフ、特技: 料理

事業報告

1/5 事務所開き

1月5日(水)仙台青年会議所の事務局にて2022年度事務所開きを執り行いました。そして私たちが本年度1年間の安全と事業に励むことができるように祈願していただきました。2022年度のスローガン「Carry Out!～志高く仙台の未来を切り拓こう～」のもと、一人ひとりが高い志を持った社会の実現を目指して、活動を行ってまいります。

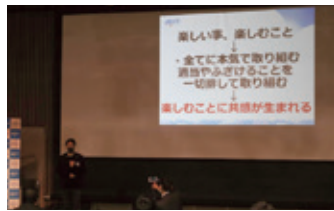
本年も私たちの活動にご理解、ご賛同をいただきますようお願い申し上げます。



1/11 会員拡大セミナー

1月11日(火)会員開発特別委員会による仙台青年会議所メンバー向けの会員拡大セミナーがエルパーク仙台とZoom配信のハイブリッド形式で開催されました。

本セミナーは、八重樫理事長の号令にはじまり、組織が一丸となって会員拡大に取り組む重要性について説明が行われました。私たち、仙台青年会議所では、共に活動にご参加いただける25歳から37歳までの方を募集しています。



1/14 どんと祭・裸参り

1月14日、宮城県の小正月に行われる伝統ある火祭り「どんと祭」が大崎八幡宮で開催され「裸参り」へ参加しました。境内一角に持ち寄られた正月飾りは「忌火(いみび:清浄な火)」により点火され焚き上げられます。

仙台青年会議所は、仙台の未来を担う青年経済人として地元と密着し、地域を愛する心で1984年から「裸参り」へ参加し、本日で37年目となりました。



1/21 2022年度京都会議

1月21(金)～23日(日)に京都の地にて2022年度京都会議が現地とWebによるハイブリッド形式により開催されました。

新年式典において本年度は、仙台青年会議所から総務委員会委員長として日本青年会議所へ出向している菅原啓太君が司会を行い、日本青年会議所第71代会頭中島土君の所信演説では、本年度のスローガン「愛が、希望に変えていく。」をもとに、青年会議所は「愛」を前提とした組織であり、まちの未来を変えることができること、まちのビジョンを策定し、不安を希望に変える一歩を踏み出すことができる組織であることを力強く発信し、各地青年会議所メンバーそれぞれがまちのために行動を起こしていくことの重要性を改めて語りかけるものとなりました。



1/27 第1回例会(新年式典)

1月27日(木)、2022年度第1回例会(新年式典)を開催いたしました。

本来であれば内外の関係者の方々をお呼びした新年式典の開催を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みメンバーのみで開催しました。

新年式典で放映した動画では、2022年度のスローガンである「Carry Out!～志高く仙台の未来を切り拓こう～」をもとに仙台青年会議所が行っていく事業や運動の方向性を、第71代理事長八重樫司君より発信しています。

新年式典動画は仙台青年会議所公式Youtubeチャンネルにてご視聴いただけます。



あらゆるニーズに対応する 豊富なラインナップ



建設機械レンタル 建設機械販売
建設機械中古販売 建設機械修理



青葉商工から創立70年を超える信頼と実績

株式会社 エルピダあおば



TEL 022-358-7740

〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2-2-2

<https://www.elupidaaoba.co.jp>

■富谷営業所 〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2-2-2
TEL 022-358-7740 FAX 022-358-7430

■仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野2-4-4
TEL 022-258-0511 FAX 022-258-0522

■石巻営業所 〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字境塚1
TEL 0225-94-9790 FAX 0225-94-9795



不動産の総合コンサルタント

MIZUHO

不動産 買取・売買・管理

仙台に銘菓あり——

秋の月



ご贈答
お土産に



広瀬通り 大町本店
仙台市青葉区大町2丁目14の18
TEL.022(263)3000 (代)
www.sanzen.co.jp



全国発送も承っております 受注センター TEL 0120-46-3000 FAX 0120-33-2580